

赤潮・貧酸素情報（１）

平成２９年６月７日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター
豊前海研究所長

６月７日に調査を行った結果、苅田本港、苅田新港、宇島漁港で、ヘテロシグマ アカシオ（*Heterosigma akashiwo*）による赤潮の発生が確認されました。

○ヘテロシグマ・アカシオ細胞密度

番号	採水場所	採水層 (m)	ヘテロシグマ・アカシオ (細胞数/海水1ml)
①	苅田新港	0	3360
		5	670
②	苅田本港	0	3890
		5	2220
③	苅田南港	0	15
		5	30
④	宇島漁港	0	3475
		5	105

○ヘテロシグマ・アカシオは、豊前海で主に５～６月頃に発生し、10,000細胞/ml以上で魚がへい死することがあります。

○漁獲物の港内での蓄養は避け、早めの出荷を心がけてください。

○今後も、天候次第ではさらに増殖する可能性がありますので、着色が認められていない港でも十分注意してください。

○なお、貧酸素水塊の発生は認められませんでした。

○研究所では、引き続き調査を実施しますので、今後の赤潮情報に十分ご注意下さい。

今後、漁業被害、海面の着色などがみられましたら、豊前海研究所（0979-82-2151、担当：恵崎、俵積田）までご連絡下さい。

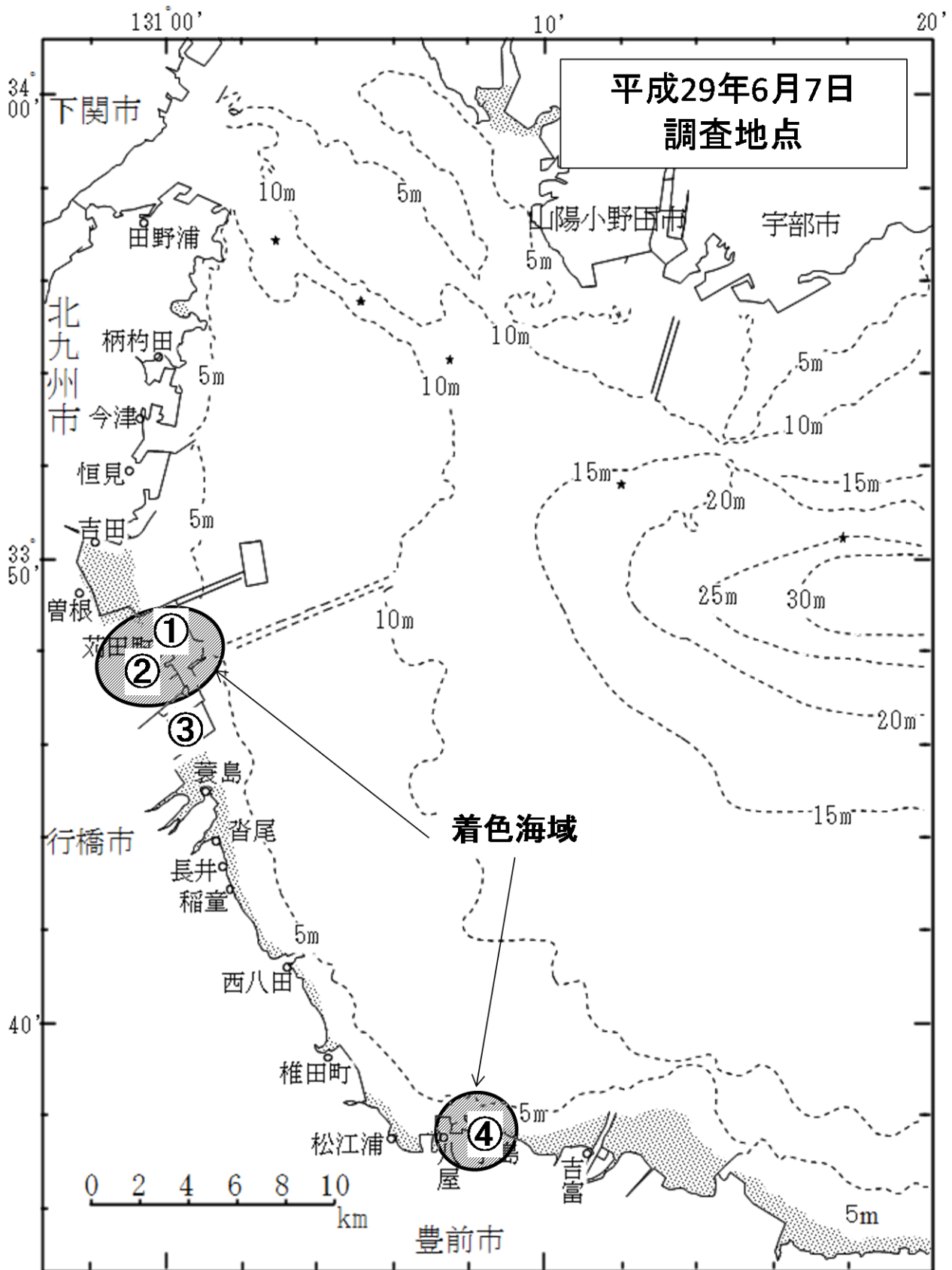


図 赤潮発生海域図